



2. 『荒尾子ども未来基金』を創設しました

～次世代を担う子どもたちのために～

子どもたちが地域の中で健やかに育ち、次世代を担う人材として成長することに役立てる事業を推進するため、ことし7月に1千万円を原資とし、荒尾子ども未来基金を創設しました。

趣旨にご賛同いただける、個人・団体・事業者の皆さんから広く寄附を募り、子どもたちのための事業に広く積極的に取り組んでいきます。



●基金を活用して取り組む予定の事業分野

- ☆子育て支援に関する事業
- ☆教育環境の充実に関する事業
- ☆子どもの育成に関する事業 など

■基金への寄附累計額 1,211,107円
(9月21日現在)

皆さんからの心温まるご理解とご支援をお待ちしております。

※寄附金は、税金の控除や損金算入の対象になります。

☎政策企画課企画統計係

☎63-1274



桜ゆりかご会(松島眞智子会長)
昭和62年発足。子どもたちに童謡の優しさや温かさを伝える活動に取り組む

InterView

「子どもたちのためにできることをただけです」

ニュースで「荒尾子ども未来基金」が創設されたことと聞き、私たちの活動の思いと重なっているなと思いました。

そこで、8月の創立30周年記念コンサートで、会のメンバーや来場者に募金を募り、寄附を集めることにしました。たまたま寄附第1号となりましたが、子どもたちのために何かしたい、同じ考えをお持ちの人も多いのではないのでしょうか。

今回のコンサートでは「ふるさと」をテーマにしましたが、その「ふるさと」を将来支えてくれるのが今の子どもたちです。基金のお金は、子どもたちにとって最も大切なことに使ってもらいたいのです。そして、その子どもたちが大きく成長し、ふるさと荒尾の発展のために活躍してくれる日を楽しみにしています。

特集

子ども未来創造あらお

荒尾市では、子どもたちの豊かな未来につながる新たな取り組みがスタートしました。キーワードは「子どもは地域の宝物」。その主な取り組みをご紹介します。そして、「荒尾の未来を創造したい」と、すでに動きだしている子どもたちがいます。彼らの考える豊かな荒尾とは__。特集後半では、彼らの考える荒尾まちづくりに触れてみました。



1. 小学校の給食費補助を10月から始めます

～市民で支える小学校給食費補助制度～

子どもは地域の宝であることから、子どもの成長を地域社会全体で支え、安心して子育てができるまちづくりを目指します。保護者から小学校または市に対して小学校給食費の補助申請を行ってもらい、10月分の給食費から補助します。

●補助申請方法

市内の小学校に通う児童の保護者は、小学校へ申請書を提出してください。市外で学校給食を提供している小学校に通う児童の保護者は、給食センターか教育振興課へ申請書を提出してください。詳しくは、問い合わせください。

☎給食センター ☎63-0620

☎教育振興課学務係 ☎63-1659



一小4年
久保田菜月さん

給食はおいしいです。好きなおかずはカレー。おかわりするのが楽しみです。



一小4年
山田優衣さん

今日の給食のメニューは何かとワクワクしながら友達と話しています。

InterView

「給食は子どもたちにとって料理・食材との初めての出会いの場でもあるんです」

給食は、学校給食摂取基準を基本に、エネルギー量、タンパク質、鉄分、カルシウム、ビタミン類など子どもたちの成長に必要な栄養素が摂取できるものでなければなりません。しかし、食事とは本来楽しむもの。献立を考えるときは、子どもたちが笑顔で「おいしい」と言いながら食べる姿を想像しています。

子どもたちには食文化の奥深さを学んで欲しいです。給食には日本食だけでなく、世界各国の料理も取り入れています。さまざまな食材・料理との出会いが、世界の食文化を学ぶきっかけになります。また荒尾梨をはじめ、米・野菜など地元の食材も取り入れることで地産地消の大切さも伝えていきます。

食事は生きていく上で最も基本となるものです。給食を通してたくさんの命を頂いて今の自分があるという感謝の気持ちと、みんなで食事をする楽しさを伝えられたらうれしいですね。



栄養教諭
藤丸奈美さん